

健康と光線

「光線療法普及協会」

発足のお知らせ

平素より、サナモアをご愛用頂き、心より厚く御礼申し上げます。

これまで、弊社ではサナモアの認知と評価を高めるため、「サナモア光線協会」と「光線普及協会」を設立し、それぞれで活動して参りました。サナモア光線協会では、季刊誌「健康と光線」の発行、光線治療師の養成を初めとしたご愛用者さま向けのサービスを展開、光線普及協会では、サナモア販売代理店、光線治療院に向けた宣伝活動を行って参りました。光線普及協会は、一

時期、有限会社として活動しておりましたことをご存知の方もいらっしゃるかと思います。

その両協会を、十月一日付にてそれぞれ「サナモア友の会」と「光線療法普及協会」に改め、再発足すること致しました。現在、サナモア光線協会にて行っている季刊誌発行等の事業の一部は、光線療法普及協会に移し、サナモア光線協会会員の方は、新設されたサナモア友の会にてこれまで通りのサービスをお受け頂けるように致します。今後、新たに発足する光線療

発行所
光線療法
普及協会
(年2回発行)

〒153-0063
東京都目黒区目黒
1-23-11
電話 東京 (03)
5759-6333

法普及協会では、サナモア販売代理店さま、光線治療院さま向けサービスを担うとともに、光線療法をご存知ない方に対しても、積極的にアプローチする予定であります。

これに伴い、対外的には、商品の販売、治療器の保守・点検を主に行う(株)東京光線メディカル、全身照射を含む光線治療を体験できるサナモア治療院ソレイユ、そして、光線療法の普及活動全般を担う光線療法普及協会といった体制となる訳ですが、創業時の理念を胸に、全社員一丸となって取り組むつもりでありますので、今後とも、ごっつぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 宇都宮 正範

季刊誌「健康と光線」の 発行回数変更について

これまで、サナモア光線協会(現：光線療法普及協会)では、光線療法の普及活動の一環として、季刊誌「健康と光線」を、年四回発行して参りましたが、来年度から、年二回(一月号と七月号)の発行に変更させて頂くこととなりました。

ご愛読者さまにはご迷惑をおかけすることとなり申し訳ございませんが、弊社からの情報提供には、弊社ホームページを利便させて頂きたいと考えておりますので、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

なお、「健康と光線」の定期購読をご希望されない方におかれましては、弊社までご連絡の程お願い申し上げます。

サナモア治療院 ソレイユ

電話 (03) 5759-3710
ファクス (03) 5759-3720
住所 〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
営業時間 午前9時30分～午後5時
定休日 木曜・日曜・祝日

株式会社 東京光線メディカル

電話 (03) 5759-6333
ファクス (03) 5759-3720
住所 〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
営業時間 午前9時30分～午後5時30分
定休日 日曜・祝日

一病息災 一病息災

ヒートショックプロテイン (HSP)

医学博士 宇都宮 正範

はじめに

毎日が忙しく、慢性的ストレスを抱える現代人も、夜自宅に帰り温かい湯船につかると、何となくほっとして癒されるのではないかと思います。医聖ヒポクラテスは、人の健康にとって大切なものとして、日光と熱を挙げました。人は、温かい物に触れたり、温かい物を飲むことで、優しく寛大になれるといった実験結果もあるくらいで、熱によって人の健康が保たれていると言っても過言ではないかもしれません。

タンパク質とは

ヒトの身体は、水分が約60%を占めています。その他は、ほとんどをタンパク質が占めています。それだけ身体の構成要素として重要なタンパク質は、アミノ酸が鎖状に連結してできた高分子化合物であり、細胞内

で合成され、細胞外にも出て働きます。そして、その数は10万種類以上にのぼり、皮膚、毛髪、筋肉を作るタンパク、食物の消化酵素、アミロイドタンパクなど様々あり、皆(すべて)存知のコラーゲンもタンパク質の一種で、コラーゲン不足は、体のたるみや肌荒れ等を招くことになります。

ヒートショック

プロテイン(HSP)

1962年、リトツサは、ショウジョウバエを通常より高い温度で飼育した際に増加するタンパク質を発見しヒートショックプロテイン(HSP)と命名しました。その後の研究で、ほとんどの生物において、自身の最適温度から体温が数度上昇した時、細胞内にHSPが増加することが確認され、また、HSPは熱ストレスだけでなく、紫外線、放射線、低酸素、化学薬品等のストレスでも増加することが明

らかにされました。

これまでの実験結果から、HSPはヒトが熱いと感じる温度(約38度)から徐々に増加し、38・5度で約2倍となり、その後、2日目頃にピークを迎え、4日間程持続した後、7日で元のレベルにまで戻るとされています。

HSPの働き

それでは、HSPは体内において、どのような働きをするのでしょうか？

タンパク質はリボゾームというタンパク合成工場で作られるのですが、HSPはタンパク質の合成、運搬、そして分解までを滞りなく進むように手助けします。ですから、病気やストレスで傷ついたタンパク質を健康に戻すとともに、健康の維持、免疫の活性化、認知症の予防、傷を早くきれいに治すといった大切な役割を担うことになります。つまり、人の健康維持には、

健康なタンパク質が必要不可欠で、様々な原因で傷ついたタンパク質の健康を取り戻すように働くHSPは、身体を内からサポートする頼りになる存在なのです。

光線療法とHSP

よく病院での手術にあたり、術前から光線療法を行っていたお陰で、術後の傷の治りが早いと医師に褒められたといった話を聞きますが、これにHSPが一役買っています。

光線療法の熱は深部にまで伝わる輻射熱で、長時間の保温効果が維持され、この間、HSPの増加した状態が続くため、手術の侵襲に対し、スムーズな治癒機転を促し、想定よりも早く回復するのです。

もし、病院の医師から、手術を勧められた場合には、迷わず、術前から光線療法を行うことをお勧めします。

サナモア便り



vol.67 宇都宮 正範

第二十一期

サナモア光線治療師養成講座を東京にて開講

第二十一期サナモア光線治療師養成講座を、東京にて六月十七日から二日間の日程で開講致しました。今年度から、講義を金曜と土曜の二日間としましたが、10名の受講者を迎え、活発な質

疑応答を行うことができました。今回、治療師認定を受けられた方を紹介致します(写真)。



治療師認定者

山本 理絵子(広島市)、上田 重喜(広島市)、森 美友紀(横浜市)、伊藤 静子(福岡県)、伊藤 夏子(福岡県)、小坂 治也(東京都)、下村 靖子(東京都)、北 妙子(札幌市)、皆川 容子(神戸市)、小木曾 宗雄(愛知県)。

敬称略

第四十五回

「光と熱研究会」のお知らせ

医療に関連した話題の講演や

治験例の報告を中心とした研究会を開催しています。

日時：十月二十二日(土)

午後二時三〇分

場所：(株)東京光線メディカル 三階会議室

サナモア 地方部会報告

昨年に引き続き、8月28日に福島県会津若松市において開催された地方部会の報告を致します。

会津サナモア光線愛好研究会

通称ASKIK(あすきく)

平成元年に会津若松地域のサナモア愛好者を中心に発足したこの会は、毎年、この時期に開催されており、今年で28回目となりますが、会津若松市文化センターにおいて、「光線療法とカーボンの組み合わせ」という演題で、宇都宮正範による講演

が約一時間行われました。

当日の参加者は、山内惣悦前会長、猪俣一夫会長ご夫妻、小林文昭ご夫妻、二ノ宮多恵子さん、金山美紀さん、若林順子さん、鈴木ヒロ子さんの九名で、皆さま熱心に聴講されており、光線療法に対する知識をさらに深めて頂けたのではないかと思います(写真)。

講演会終了後には、恒例の懇親会が、会津東山温泉 東山第一ホテルにて開かれ、役員の方々と夜が更けるまで、これからの

光線療法の普及等について話し合い、翌日、来年の再開を約束して帰路に着きました。



募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

光線療法普及協会

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-6333

治験例報告

両側の頸動脈狭窄症を

サナモアで治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏報告

TEL 〇七八ー三三ー三三五八

症例 81歳 男性

症状 50歳頃から、職場での定期検診で脳ドックは受けていたが、とくに異常は指摘されていなかった。平成27年11月、初めて施行した頸動脈エコー検査にて、両側の頸動脈にプラークによる狭窄病変を指摘。

「頸動脈エコー検査」 右頸動脈の狭窄率62・7%、左頸動脈の狭窄率52・8%

今後、年齢を考慮すると脳梗塞を起こす危険があるとの説明を受け、専門病院を紹介された。平成28年3月にその病院で施行した頸動脈エコー検査で、前回の検査結果と同程度の狭窄病変を認めたため、入院の上、カテーテルによる脳血管造影検査を行い、その結果から治療方針を決定することとなる。

療法経過 3月5日から21日の

治験例報告

膵臓癌に対する

サナモア使用経験

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二ー五八一ー〇三九
五七二ー一五七三

症例 92歳 女性
症状 サナモア愛用者。突然の電話を頂き、病院の検査で膵臓癌と診断されたので自宅で光線療法を行いたいと相談を受けた。

療法経過 治療は、上背部から腰部にかけて、B Dカーボンで

テル検査の結果、右頸動脈は50%の狭窄、左頸動脈は軽度狭窄と両者ともに改善傾向を認めたことに担当医は大変驚かれ、「外から見ると中から見るとでは違いますね・・・」と独り言を発していた。

サナモアで脳梗塞になる前に救われたようで、これからも命の恩人のサナモアを続けたいと話している。

照射するとともに、基本照射を併せて行うよう指示した。その後、不定期に報告は受けており、元気に過ごされている様子だったが、その二年後、膝関節痛にはどのカーボンを使用するかとの質問を受けたので、B Cカーボンですと答えたのを最

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当社が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当社としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線メディカル

後に連絡が途切れていた。

それから約半年後、その方の友人からその方が亡くなられたとの連絡を受けたが、友人の話では、医師から膵臓癌を告知された時は、余命四か月だったそうで、ご本人は、副作用で苦しむたくない抗がん剤による治療は一切受けず、光線療法のみで過ごしたそうです。そして、医師

から四か月の余命宣告を受けていたにもかかわらず、二年半も生きることができ、最後まで苦しむこともなく過ごすことができたのは、サナモアのお陰と感謝されていたとのことでした。

ご訃報に接し驚きましたが、心からご冥福をお祈り申し上げます。

治験例報告

前立腺肥大症、前立腺癌に対する

サナモア使用経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 044-731-5067

症例 74歳

症状 サナモア愛用者。以前から、排尿障害を認めており、病院で精査施行したところ、前立腺肥大症と診断されたため、サナモアでの治療を希望し来院した。

療法経過 治療はA BまたはB Dカーボンの組み合わせにて、

四台の光線治療器で施行。側臥位にて、顔面15分、腰部から臀部30分、下腹部から会陰部30分、後頭部15分、足裏15分照射。次に仰臥位として、左右の股関節、左右の膝関節側面を15分照射した。光線治療を行った日には、排尿がスムーズと話され、自宅での治療も併せて施行。

その後、良好に経過していた

が、定期的に行っていた前立腺

の組織検査にて前立腺癌の合併を指摘されたため、B Dカーボンの組み合わせで光線治療を継続。現在、病院での前立腺癌に対する治療に、光線療法を併用し経過観察しているが、医師からは経過良好と説明を受けている。

治験例報告

サナモアで

骨折と認知症を予防

目黒区 サナモア治療院ソレイユ

山下 サチ子氏報告

TEL 03-5759-1370

症例 94歳 女性 独居

症状 他院にて、腰痛および膝関節痛に対して、光線治療を受けていた患者。平成21年9月から、当院に来られるようになり、週一回のペースで治療を行っている。

療法経過 治療には、四台の光線治療器を使用。側臥位にて、

が、定期的に行っていた前立腺

腹部(B D)、腰部(B D)、膝A B、足裏(A B)を45分全身照射。もともと腰痛と膝関節痛の治療目的にて始めた光線治療であったが、症状改善後も治療を継続。これまで、四回ほど自宅や外出先にて転倒しており、打撲を負った際に、その部位に対して集中的に光線治療も行って

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモア光線治療器はカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5

*

はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

きた。

本人は、これまで幾度となく転倒したが骨折することなく、また、認知症にもならず独りで元気に過ごしているのはサナモアのお陰と大変喜ばれている。

「一言」光線療法には、骨を丈夫にする作用や認知症を予防する効果を期待でき、健康寿命を延ばすための解決策の一つに成り得ると考えられます。

ソレイユ院長 宇都宮 正範

サナモアカーボン

送料変更のお知らせ

弊社では、社内体制の変更にともない、サナモアカーボンの発送業務を十月一日より大垣事業所にて行うこととなりました。これによりカーボン送料の見直しを行い、左記の表のごとく改

訂させて頂きますので、何卒ご理解の程お願い申し上げます。なお、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせの程お願い申し上げます。

■ カーボン送料

商品お届け先	1～15箱	16～30箱	31～50箱	51箱～
関 東 (東京、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川)	¥700	¥900	¥1,100	無料
甲信越 (新潟、長野、山梨)				
北 陸 (富山、石川、福井)				
中 部 (静岡、愛知、三重、岐阜)				
関 西 (大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫)	¥800	¥1,000	¥1,200	
南東北 (宮城、山形、福島)				
中 国 (岡山、広島、山口、鳥取、島根)				
北東北 (秋田、青森、岩手)				
四 国 (香川、徳島、愛媛、高知)	¥900	¥1,100	¥1,300	
九 州 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)				
北海道	¥1,200	¥1,400	¥1,600	
沖 縄	¥1,200	¥1,700	¥2,200	

旧社名入り振替用紙についてのお知らせ

お手持ちの旧社名(東京光線療法研究所)が記載された振替

用紙については、今後も、ゆうちょう銀行にて継続使用が可能です。どうぞそのままご利用ください。

感謝キャンペーン

一部終了のお知らせ

本年四月から、サナモアご愛用者さまを対象として行ってきた左記の「感謝キャンペーン①」につきましては、本年十二月末日をもちまして終了とさせて頂きま

す。なお、同時に始まりました他の特典②、③につきましては、今後も継続する予定でおりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

〔終了する特典〕

①サナモアカーボン(10本入)10箱を一度にご購入されたお客様には、同種のサナモアカーボン(10本入)1箱を進呈。

〔継続する特典〕

②サナモア光線治療器を新規にご購入されたお客様、あるいは、買い替えられたお客様には、ご希望のサナモアカーボン(10本入)1箱を進呈。

③新規にサナモア光線治療器をご購入されるお客様を、ご紹介くださったご愛用者様には、ご希望のサナモアカーボン(10本入)1箱を進呈。

SanaMore

光線療法普及協会

趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の養成の事業を行います。

光線療法普及協会

医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11

光線療法普及協会TEL(03) 五七五九-六三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)